

経営比較分析表（令和6年度決算）

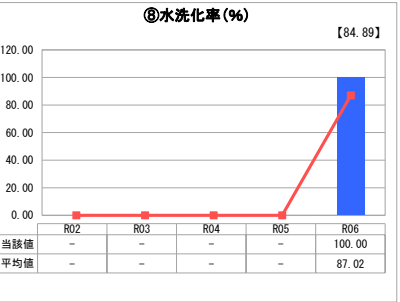
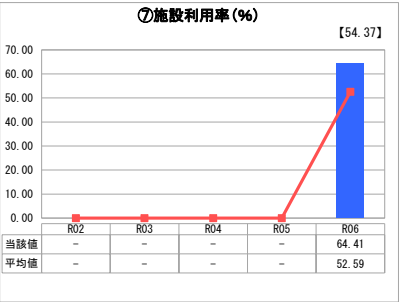
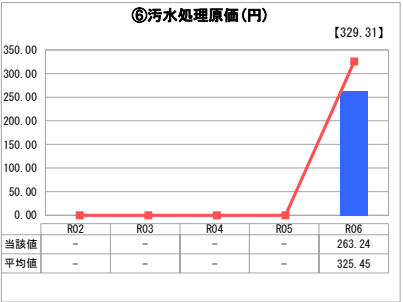
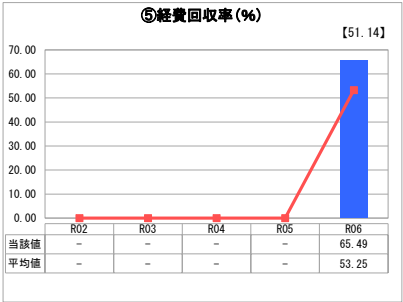
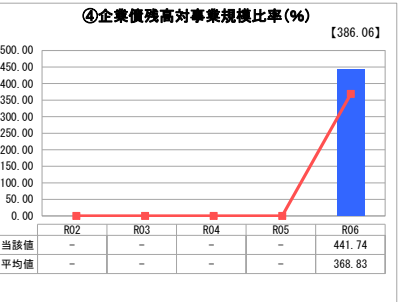
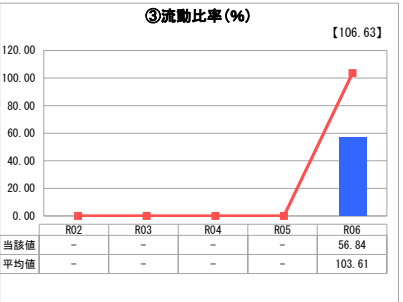
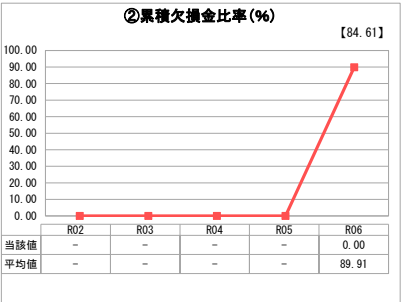
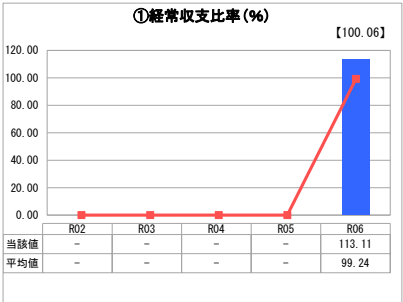
群馬県 嬬恋村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.37	10.19	100.00	4,403

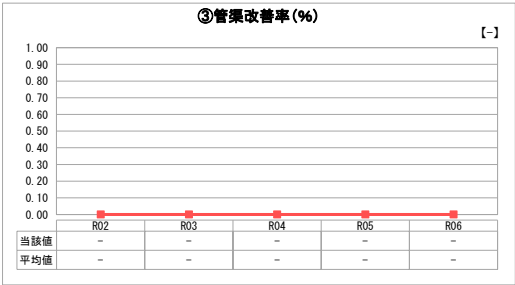
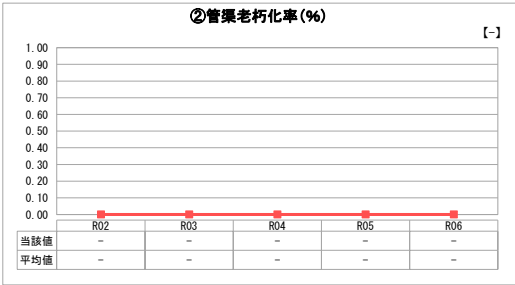
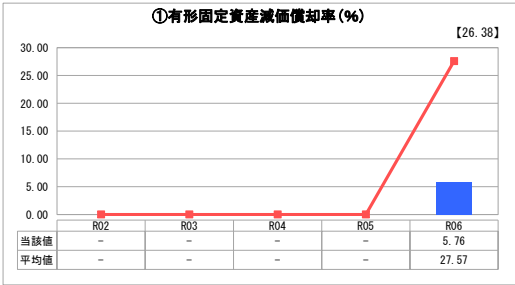
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,073	337.58	26.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
927	0.15	6,180.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①一般会計に依存。料金改定が急務。
③一般会計に依存。料金改定が急務。
④類似団体より高い。料金改定が急務。
⑤一般会計に依存。料金改定が急務。
⑥平均値よりも低い水準で推移しているが、数年前と比べると、上昇傾向にある。個々の浄化槽の状況を把握し、より効率的な施設管理が必要である。
⑦平均値を上回る利用率。浄化槽設置家屋が空き家になるケースも増えていることから、空き家バンク等役場内でも連携し、利用率の維持、また利用率の向上に努めたい。
⑧合併浄化槽整備を前提としているため水洗化率は100%となっている。

2. 老朽化の状況について

老朽化によるブロワーの修繕件数の増加に加え、設置後10年以上経過した浄化槽本体の修繕件数が増加傾向にある。浄化槽本体の場合、ブロワーよりもコスト高となるため、維持管理のコスト軽減のための検討が必要となる。

全体総括

現在まで収益的収支比率は100%を超え推移しているが、今後人口減少傾向もあり料金収入は横這いか、右肩下がりになると予想される。また、経費回収率も平均値を上回っているものの、経費削減により経費回収率の向上に努める。料金改定が急務。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。